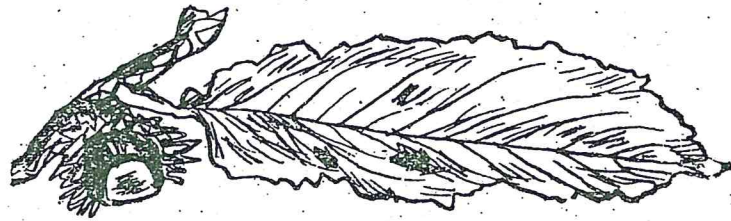


新青年

SHINSEINEN

monthly magazine : best stories & articles

Nov.-Dec.



卷六十二第

十一月二十
號月二十

號四第

目次	新生の海……………梶野 惠 (三)
凡々洞と玄海和尚……………納言 恭平 (四)	
竈びらき……………北町 一郎 (四)	
似顔繪陰陽……………(畫と文) 清水 崑 (三)	
詰將棋新題……………八段塚田 正夫 (七)	
戦時中の米國映畫界……………長谷川 修二 (三)	

七〇錢

新青年

SHINSEINEN

monthly magazine : best stories & articles

October

めつきり白髪の殖えた母の腕に、
今、還つて来て、しつかり抱かれてゐる。
兩人は何も喋り合ひはしないが、
さうしてゐるだけで十分満足であつた。
いままら何をいふことがあらう。
生きて兩人が再び會へたといふこと、
そして明日から睦しく共に働けるといふ
こと、
その喜びがお互ひによく分つてゐるの
から。

母の腕の中にあるもの、
それは息子であり、
娘であり、
また誰でもない。
われ／＼の誰かであり、
そしてまた、
「平和」それ自身でもある。

目次	蕃 茄……………大下宇陀見 (二)
舞 草……………乾 信一郎 (六)	
扇……………三木 菟一 (三)	
詰將棋新題……………八段塚田正夫 (三)	
編輯後記……………(三)	
新原稿募集……………(三)	
新しき平和の女神……………川端 勇男 (三)	
誰が名優……………渡瀬 敬作 (四)	

七〇錢

卷六十二第

十一月十
號月十

號三第